

地域支援センターしせい

第5号

交流及び共同学習の紹介



小学部では、学校間交流と居住地の小学校における交流を行っています。11月25日に実施した居住地校交流は今年度2回目でした。今回は体育の授業に本校児童1名が参加しました。児童が好きな風船を使って、ルールも分かりやすく工夫してゲームを行い、みんなでふれ合いながら楽しく活動することができました。

12月1・2日には中村第一小学校6年生との学校間交流を行いました。本校3～6年生の音楽、体育、自立活動の各授業グループに分かれて活動しました。ペアの友達と協力してドッジボールゲームをしたり、サンタクローズのダンスを一緒に踊ったり、大きな風船をみんなでパスし合ったりと、それぞれたくさんふれ合って共に楽しい一時となりました。

今後も子どもたち同士が「地域で共に学び、共に生きる」ことをめざして、交流及び共同学習の充実に向けて取り組んでいきたいと思います。

中学部では、外部講師を交えながらいろいろな活動を一緒に体験することで、社会性や豊かな人間性を養うことをねらいとして中村第一中学校の特別支援学級との交流及び共同学習を5回行ってきました。4月には、アルパ奏者の演奏と一緒に鑑賞する交流会、6月からはJAの方を外部講師に迎え、バケツ稲を育てる学習（苗植え、稲刈り、もみすりと精米、収穫祭）を継続して行いました。バケツ稲の学習では、一緒に取り組んでいくことで生徒達同士が抵抗なく受け入れ、協力して活動に参加している様子が見られるようになりました。



高等部では、去る11月5日（木）に相馬東高校との学習交流会を実施しました。生徒達はお互いにとても楽しみにしていました。今年度は第1回目ということで相馬東高生16名が本校を訪れて作業学習の体験をし、本校の様子を体験を通して知ってもらいました。最初は緊張していましたがすぐに打ち解けて交流を深めることができました。同世代の他の高校生との交流はまさに新鮮であり、とても良い刺激を得ることができました。また交流したいという声をたくさん聞くことができました。とても貴重で有意義な交流をすることができました。